

平成 28 年 黒部市教育委員会 3 月定例会 議事録

開会年月日	平成 28 年 3 月 25 日（金）午後 1 時 30 分～	
会場	黒部市役所 203 会議室	
会議の種類	定例会	
出席委員(4人)	1 番 川崎 正美 3 番 村田 聖士 (委員長) 4 番 大丸 勝男 5 番 能澤 雄二 (教育長)	
欠席委員(1人)	2 番 水野 恵子	
出席職員 (10 人)	教育部長 事務局次長・学校教育課長・給食センター所長 事務局次長・生涯学習課長 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 図書館長・図書館構想推進班長 こども支援課長 学校教育課 学校教育班長 生涯学習課 社会教育班長 生涯学習課 ジオパーク推進班長 学校教育課 課長補佐 庶務係長	瀧澤 茂宏 御囲 泰晃 飯野 勉 魚谷八寿裕 中谷 松憲 霜野 好真 尾村 国昭 横山 栄人 西中 雅博 神保 竜
会議開始	午後 1 時 30 分 (市民憲章朗唱)	
委員長	只今から、黒部市教育委員会 3 月定例会を開会します。初めに「議事録の署名について」は、委員長の私が署名します。次に、「2 月定例会の議事録」についてであります、事前配布してありますので読み上げは省略いたします。訂正・質問等がございましたらお願いします。(質疑なし) 無いようですので、記載のとおりとし、私が後ほど署名いたします。 次に「教育長報告」をお願いします。	
教育長	本日は今年度最後の定例教育委員会となります。3 月末は人事異動の時期であります、今日は校長級の異動が新聞報道でありました。一般教員については 28 日に新聞報道の予定です。昨日は、市職員の異動内示がありまして、本日新聞報道がありました。教員の異動、校長の異動、市職員の異動の詳細についてはお手元にそれぞれ配布のとおりであります。あわせて、この後報告することにしておりますが、人事異動に伴いまして、婚活事業への取組を明確に示すために、生涯学習課内に女性青少年係とあったのですが、これを婚活・女性青少年係と名称変更とすることとした組織変更がありました。人事異動では、この教育委員会に出席している幹部職員のうち、飯野生涯学習課長は市長部局の総務企画部次長税務課長として、尾村学校教育班長は桜井中学校長として教育委員会事務局を転出されることとなります。また、御囲学校教育課長は教育部長に、西中班長は生涯学習課長に昇格します。瀧澤教育部長は定年退職をされます。委員長の許可を得られればこの会議の最後に退職および転出されます 3 名の方から挨拶の機会をお願いしたいと思います。それでは教育長報告を致します。	

1 所管事務の状況報告について

- (1) 黒部市教育文化表彰式（2月25日市役所）
- (2) 黒部市伝承芸能・伝承技術士認定式（2月25日 市役所）
- (3) 第3回黒部市総合教育会議（2月26日 市役所）
- (4) 前沢小学校閉校式典、閉校記念碑除幕式、感謝の集い（3月5日 前沢小等）
- (5) 三日市小学校閉校式典、感謝の集い（3月6日 三日市小等）

2 出席した会議の概要報告について

- (1) 第33回カーター記念黒部名水マラソン第2回実行委員会
(2月25日 市総合体育センター)
- (2) 黒部市議会3月定例会（3月1日～18日 市役所）
- (3) 黒部市バレーボール協会設立50周年記念事業（3月5日 萩原ヶ黒部）
- (4) 小中学校長研修会（3月11日 三日市小）
- (5) 黒部カップ選抜中学校バスケットボール大会
(3月12、13日 市総合体育センター)
- (6) 交通安全反射材贈呈式（3月23日 市役所）

3 所管事務に関する問題・情報等について

（児童・生徒及び教職員の安全・安心に関すること）

- (1) 児童生徒の交通事故等（なし）
- (2) 教職員の交通事故等

・2月26日（金）午前7時頃、入善町古黒部地内（新小川橋から200m黒部寄り）
女性教諭が出勤途中、国道8号線を時速50kmで走行中、路面の凍結によりスリップし、対向車線側（右側）のガードレールに衝突した。幸い対向車はなかったが、本人は背中と首を打撲した。その後、警察へ連絡し事情聴取を受けた。

また、車はレッカー車で移動された。本人は母親の車に同乗し、あさひ総合病院で受診した。レントゲン検査を行ったが、特に異常は見られなかった。

※校長研修会において、出勤や出張は時間に余裕をもって出ること、また、道路状態に応じた慎重な運転を心掛けるよう教職員へ指導するよう指示した。

・3月16日（水）午前7時10分頃 滑川市坪川地内

女性教諭が出勤途中、市道交差点を通過する際、右方向から交差点に入ってきた相手の車と衝突した。両方向ともに一旦停止の標識はなく、右方向から来た相手に気づき、ブレーキをかけたが間に合わなかった。直ちに本人が警察に連絡し、現場検証を受けた。

また、地域の方が救急車を要請し、救急車で本人、相手方ともにけがのないことが確認され、医療機関には行っていない。

- (3) 不審者等の情報（なし）
- (4) いじめ（2月報告分）

小学校で認知件数新規2件、中学校でも認知件数新規1件で合計3件でございます。

以上でございます。子どもたちは今日から春休みですが、昨日現在のインフルエンザの状況について学校教育課長から状況を報告させていただきます。

事務局
(学校教育課長)

前回報告した後の状況について報告いたします。

小学校では、生地小1人、石田小8人、中央小4人、三日市小3人、前沢小2人、宇

奈月小4人、小学校計22人という状況です。中学校では鷹施中3人、桜井中15人、計18人となっております。小中あわせまして40人が休んでいる状況でありました。学級閉鎖や学年閉鎖は現在ございませんが、3月に入り、三日市小学校4学年が3月1日～2日に学年閉鎖、たかせ小学校2年1組が3月3日～4日に学級閉鎖、同じく5学年が3月3日～4日に学年閉鎖となっていました。一時は100人近くの児童生徒が休んでおりましたが、現在は35人前後となり、徐々に落ち着いてきている状況であります。

教育長

以上で教育長報告を終わります。

委員長

毎月、教職員の交通事故、違反なりが出てきます。他の市町村と比べて多いのか少ないのか、一般的な社会人と比べるとどうなのかは分かりませんが、もし、多いということであれば、注意していかなければならないと思います。

教育長

他の市町村と比較した、はっきりとしたデータはありませんが、県の会議で、県内教職員の状況を聞いておきますと、いろいろな状況の中で、ある程度の事故や違反は発生しております。校長会議においては、機会を見ながら指導の徹底はさせておりますが、引き続き交通ルールの遵守、事故防止に指導していきたいと思っております。

委員長

それでは次に、次第の5番「議案」の審議に移ります。本日の議案は10件です。まず「議案第8号 黒部市教育委員会行政組織規則の一部改正について」説明願います。

事務局
(教育部長)

黒部市教育委員会行政組織規則の一部改正でございます。先ほど教育長からもありましたが、生涯学習課にあります「女性青少年係」を「婚活・女性青少年係」に名称変更するものでございます。これに伴い、条文中の事務分掌に新たに(5)「結婚支援に関すること」と規定するものでございます。従来の(4)と(6)の間に(5)として追加しますので、以降の番号は1つずつずれます。なお、この規則は平成28年4月1日から施行されます。以上でございます。

委員長

質問等ありましたらお願いします。(質問なし)

無いようですので、採決をします。議案第8号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認め、議案第8号は、原案のとおり決しました。

次に「議案第9号 黒部市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について」説明願います。

事務局
(学校教育課長)

平成28年4月1日付けで、「改正行政不服審査法」の施行に伴う関係条例の整備に関する条例が制定されることに伴い「不服申立て」という文言を「審査請求」に改めるものです。改正行政不服審査法に伴う改正における必要なキーワードとして、「不服申立て」や「異議申立て」という文言が挙げられており、教育委員会関連の規則の中で、「教育長に対する事務委任規則」が該当するため改正するものであります。以上です。

委員長

質問がありましたらお願いします。(質問なし)

無いようでありますので、採決します。議案第9号について、原案のとおり決するこ

とにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認め、議案第9号は、原案のとおり決しました。

次に「議案第10号 黒部市学校給食事務取扱規程の一部改正について」説明願います。

事務局
(学校給食課長)

平成28年1月15日に開催された小中学校長会研修会や2月24日に開催されました学校給食運営委員会において協議させていただき承認を得ておりますが、アレルギー対応食に対する給食費の取り扱いについては、これまでは運用の中で対応をしておりましたが、保護者から「お金を払わなくてもよいのではないか」という申し立てがあったことにより、この際、はっきりと明文化しようとするもので、「2 アレルギー対応食に対する給食費の取り扱いについては、次の表のとおりとする」という文章を追記するものでございます。以上です。

※改正の趣旨は理解できるが、表現にわかりにくい部分があるため、文章の表現を再検討し、後日、書面会議により決定することとした。書面会議は、修正議案を教育委員の押印により、平成28年3月28日付け、下記のとおり決定した。

(以下、修正前及び修正後の表現)

○修正前

給食費の取り扱い・条件	取扱い
弁当を持参する場合	給食費は徴収しない
献立によって主食を持参し、おかず等を喫食する場合	主食代金は徴収しない
献立によっておかずを持参し、他のおかず等を喫食する場合	副食代金を徴収する
牛乳の飲用を中止する場合	牛乳代金は徴収しない

○修正後

給食費の取り扱い・条件	取扱い
給食(主食(米飯・パン)・副食(おかず)・牛乳)を中止し、弁当を持参する場合	給食費を徴収しない
主食(米飯・パン)の喫食を中止する場合	主食代金は徴収しない
副食(魚・肉・卵料理等のおかず、野菜のおかず、汁物)の喫食を中止する場合(ただし、副食のうち一部でも喫食する場合を除く)	副食代金は徴収しない
牛乳の飲用を中止する場合	牛乳代金は徴収しない

委員長

それでは、議案第10号については、修正することとし、後日書面により決定することとします。

次に、「議案第11号から議案第17号」社会教育委員、中央公民館運営審議会委員、公民館長、図書館協議会委員、文化財保護審議会委員、美術館運営審議会委員、歴史民俗資料館運営委員会委員の任命、委嘱、以上7件について一括して説明願います。

事務局
(生涯学習課長)

「議案第11号 黒部市社会教育委員の委嘱について」でございます。委員数は12名、任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日まででございます。欄外の「新」となっております委員2名が新任の委員となります。調整中と記載されております4名については備考欄の団体からの選出となり、4月定例会で報告いたします。

(以下の議案においても、委員任期、新任の場合の「新」、調整中の理由は同様。)

「議案第 12 号 黒部市中央公民館運営審議会委員の委嘱について」でございます。委員数は 8 名で 5 名が確定しております。残り 3 名が調整中であります。

「議案第 13 号 黒部市立公民館長の任命について」でございます。全 16 地区の公民館長と中央公民館長の合わせて 17 名の方々でございます。

事務局
(図書館長) 「議案第 14 号 黒部市図書館協議会委員の任命について」でございます。委員数は 10 名で 5 名が確定しております。残り 5 名が調整中であります。

事務局
(生涯学習課長) 「議案第 15 号 黒部市文化財保護審議会委員の委嘱について」でございます。委員数は 9 名で、全員再任となります。

「議案第 16 号 黒部市美術館運営審議会委員の任命について」でございます。委員数は 7 名で 6 名が確定しております。残り 1 名が調整中であります。

「議案第 17 号 黒部市歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について」でございます。委員数は 9 名で 8 名が確定しております。残りの 1 名が調整中であります。

教育長 これらはいずれも任期が 2 年ですが、2 年前の 3 月の定例教育委員会でこのような形で調整中として、4 月の教育委員会で報告するという形をとっております。

委員長 委員を選出する場合、黒部市在住という条件はありますか。

事務局
(生涯学習課長) 例えば、文化財保護審議会など、専門的な知識を要する審議会では、学識経験者やその道に明るい専門家を選出する場合に市外の方が委員に選出されることがあります。

委員長 わかりました。他に質問はよろしいでしょうか。(質問なし)

それでは一括して採決します。議案第 11 号から議案第 17 号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認め、議案第 11 号から議案第 17 号は、原案のとおり決しました。

次に、次第の 6 番「報告」に移ります。「報告 1 黒部市奨学生定住支援補助金交付要綱の制定について」報告願います。

事務局
(学校教育課長) 黒部市では、有用な人材の育成を図るため、成績優秀であるが、家庭等の経済的理由から学資の支弁が困難な学生に対し、奨学資金を無利子で貸し付けしております。大学の場合、年間 48 万円を最大 4 年間貸付し、合計で 192 万円を貸付けることとなります。この場合、4 年間履修、卒業されてはじめて返済金が生じます。年間 19 万 2,000 円を 10 年間で返済する仕組みとなっておりますが、若者の定住促進対策として、帰ってこられて返済が始まった翌年度から 19 万 2,000 円の 4 分の 1 を市で補助するという制度を創設いたしました。予算的には、平成 28 年度から貸し付けた者を対象としており、4 年生の場合、返済が始まるのが平成 32 年度ですので、その翌年の平成 33 年度に補助金を計上することとなります。定住促進策、U ターンを意識した奨学資金制度という位置付けのもと要綱を制定するものであります。

委員長 質問等ありましたらお願いします。(質問なし)

次に、「報告 2 黒部市教育委員会臨時職員等の給与に関する要綱の制定について」報

告願います。

事務局
(学校教育課長)

これは、黒部市定数外職員規程、総務課で定めているものですが、その定めに基づき教育委員会において雇用する臨時職員等の給与の種類、賃金単価等を定めなければならないこととなり、今回要綱として制定するものです。国からは、規則で定めるよう通知があったとのことですが、市（総務課）としては、要綱で定めることとしたものであります。市長部局、社会福祉事務所、教育委員会それぞれで制定するものでございます。賃金単価については、変更の都度改定することになります。以上です。

委員長

今まではこのような要綱は無かったということですか。

事務局
(学校教育課長)
教育長

ありませんでした。

全てこの単価は、現在実施している単価、現状のものを載せてあります。

委員長

事務員さんは一律この時給です、ということですか。

教育長

市役所内の事務員ですと、全部790円で統一されています。

委員長

これは世の中に合わせて変えていくのですか。

教育長

例えば国や県と連動しているものもあつたりしますし、最低賃金の関係や他市との関係、そのようなものを見ながら毎年定めていくと。

委員長

そういうことですね。了解しました。他にご質問が無いようですので、次に移ります。
「報告3 黒部市遠距離通学費補助金交付要綱の一部改正について」報告願います。

事務局
(学校教育課長)

黒部市では、遠距離通学児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバスの運行及び通学定期券購入補助を実施していますが、この要綱は、通学定期券購入補助金を交付するものであります。今回の改正は、愛本駅からの乗降する児童が就学する予定となったことから、「愛本駅」を追加し、改正するものです。本来なら対象となるエリアの駅をすべて盛り込んでおくべきではないかと思いますが、合併当時から対象児童のいないエリアの駅は明記されていなく、この際に「愛本駅」を追加すれば全部のエリアがクリアされるということです。今までは対象者が出てくればその都度追加していたという流れが合併前からあつたようです。

委員長

質問等ありましたらお願いします。(質問なし)

無いようですので、次に、「報告4 黒部市議会3月定例会一般質問・答弁要旨(教育委員会分)」について報告願います。

事務局
(教育部長)

代表質問が1人、個人質問が4人でありました。質問項目数は大項目として5つ、中項目として24の質問がありました。

代表質問：新政会 川上浩議員

◎質問項目：戦略“K”、総合振興計画と平成28年度事業について

○中学校の再編に向けた出前講座などの取組状況と、意見交換の中で出された課題にどのように対応しているのか伺いたい。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・中学校の統合に関しては遠距離通学に対する要望が多かった。遠距離通学対策の検討にあたり、国の基準のキロ数があるが、国の基準だけではなく、市独自の判断を加えながら検討していく。

・環境変化への対応としてはクラス編成、両校教師の一定数を統合校に配置する。また、統合前から学校行事の交流や部活動の合同実施、スクールカウンセラーの配置など、心のケアを中心とした対応に努めていく。

個人質問：辻 靖雄議員

◎「仮称・くろべ市民交流センター」建設のシナリオを示せ

○核となる図書館の基本計画の策定は

<答弁要旨概略…答弁者：市長>

・平成23年3月に「黒部市立図書館建設基本構想報告書」が提言された。来年度、(仮称)くろべ市民交流センター基本構想の策定を予定しており、複合施設の中において、図書館基本構想を基に基本計画につなげていく。

個人質問：成川 正幸議員

◎図書館のあり方について

(1) 評価の高い図書館ほど、レファレンス(調べもの相談)デスクと担当職員の配置を進めるなどのサービスに力を入れている。現在の司書の配置人数は何人か。また今後、増員は考えているか。

<答弁要旨概略…答弁者：教育部長>

・市立図書館、宇奈月館を合わせた職員数は、正規職員6名、嘱託職員4名、臨時職員4名となっている。うち司書は正規職員2名、臨時職員4名を配置している。今後は増員が必要と考えている。

(2) 未来の黒部市を担う子ども達が故郷を知る場所としても図書館がある。図書館に行ってもらうためには、日ごろから本に触れることが重要になる。その観点からも図書館と学校図書館との連携が有効と考える。日ごろから子ども達と接している学校司書が図書館を拠点にすることで図書館と学校の連携が活発になるのではと考えるがどうか。

<答弁要旨概略…答弁者：教育部長>

・学校との連携については、団体貸付の利用促進、学級招待の積極的な利用の働きかけや職員出前講座を開催しており、連携を一層深めたい。

(3) これからの図書館はビジネス支援や医療健康情報サービスなどの課題解決型のサービスなどに対する要望にも応えていく必要があり、専門書などの選定など今後、企業や各種団体との情報交換が必要であると考え。そのような連携などの考えはあるか。

<答弁要旨概略…答弁者：教育部長>

・新潟市立中央図書館ではビジネス活動を支援するサービスを実施していた。新図書館に向けて検討していきたい。

(4) 図書館は近年、全国で増えつつある指定管理ではなく、直営で行うべきだと思うが現時点での市の考えはどうか。

<答弁要旨概略…答弁者：教育部長>

・現在のところ直営で考えているが、状況を見極め、調査・検討したい。

(5) 現在、黒部と宇奈月の2館が存在する。たくさんの新しい本は黒部、子ども連れや郷土資料は宇奈月など、双方の良さを最大限活かしていけるような図書館づくりも良いのではないかと考えるがどうか。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育部長>

・山岳と温泉関連資料については宇奈月館で購入している。来年度からは「あかちゃんタイム」を本格実施する予定であり、各館相互の活性化につながる努力をしていく。

(6) どのような図書館像を描いているか。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育部長>

・親しみの持てる利便性の高い図書館を目指したい。

個人質問：高野早苗議員

◎少子化対策について

○婚活支援をオール黒部市で取り組む意気込みについて

<答弁要旨概略・・・答弁者：市長>

・行政と民間等周囲が結婚支援の重要性を共通認識として持ち、男女の出会いの創出に対して連携していくことが必要と考えている。「幸せな結婚をしてほしい」という思いは、誰もが同じであり、その思いを結集し、行政、民間、企業、地域や各種団体が連携し、少子化対策に取り組んでいく。

個人質問：伊東景治議員

◎黒部市の目指す「子ども像」に向けた教育について

(1) 黒部市の各学校における学級運営の現状について

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育部長>

・生地小、たかせ小、中央小の3校の新3年生が対象となる。少人数学級を選択した場合は、生地小とたかせ小は、20人と19人の学級がそれぞれ1学級、中央小は26人の学級が3学級できることになる。

(2) 少人数学級と少人数指導についてメリット、デメリットについての教育委員会の考えはどうか。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育委員長>

・「少人数学級」のメリットは、1学級の在籍人数が少なくなることにより、きめ細やかな指導と充実した個別の支援が可能になる。特別な配慮を要する児童が複数在籍する場合は、別々の学級に配属できるようにした方が落ち着いた教育環境を得られるということも考えられる。「少人数指導」のメリットは、加配教員がチーム・ティーチングや少人数授業を行うことができるということである。

(3) 黒部市はどのような評価・判断で小学3年の学級運営に対する方針を決めるのか、各学校に委ねるのか。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育長>

・各学校の意向を十分考慮し、対象校3校全てが「少人数学級」を選択した。

(4) 小人数教育を支える教員の指導力について、大量退職を見据えて対策をすべき。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育長>

・10年後には全教員の半数弱が退職になる。ベテランの先生がもつ経験や知恵、教育技術などがスムーズに若い教員へ受け継がれることが課題。また、若い教員には、「これからの教育を担っていくのは自分たちだ」という気概をもって日々研鑽を重ねていくよう

力説している。若手教員の授業力向上に努めており、研修会に多くの教員が積極的に参加し、研修を深めている。

(5) 27年度の全国学力・学習状況調査の結果について。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・小中学校共に全国平均を上回っている。特に理科は全国1位だった富山県の平均を上回っている。しかし他の教科では県平均と比較するとやや劣るものがある。教育センターが分析を行っており、報告書として取り纏め、各校に配布している。各校が課題を明らかにし、適切な対策を立てて計画的に取り組むことが大切。

(6)各学校での取り組みは、児童だけではなく教職員の育成につなげる取組にすべき。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・児童生徒の学力向上を図るため、教職員の指導力、授業力の向上に努めている。互いに授業を参観し、授業の進め方について協議する研修会を開いている。また、市教育センターでは「教科指導に係わる研修会」をはじめ、教員の指導力を高めるための研修会を多く開催しており、たくさんの教員が受講している。

(7)「とやま科学オリンピック」の経緯と結果はどうであったか。

<答弁要旨概略…答弁者：教育部長>

・小学校部門に28人、中学校部門に61人、高校部門に18人、計107人が参加した。小学校部門で金賞1人、銀賞3人、銅賞4人、計8人、中学校部門で金賞1人、銀賞3人、銅賞7人、計11人が入賞している。

(8)とやま科学オリンピックの効果と今後の取り組みについて。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・参加することによって、難しい問題に挑戦しようという意欲につながるとともに、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、子ども達がもっている様々な能力を伸ばすきっかけになると考えている。今後とも積極的な参加を呼びかけていきたい。

(9)科学の甲子園ジュニア全国大会について。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・本県の代表チームは、とやま科学オリンピックの金賞受賞者から本市の高志野中学校2年生を含む6名が選抜され総合優勝をおさめ、文部科学大臣賞を獲得した。

(10)「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、富山県、黒部市の状況は。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・富山県・本市ともに平均値は、中学2年生女子が全国平均を下回っているが、その他では全国平均を上回っている。また、富山県と本市を比較すると本市の小中学生の男子は県平均を上回っているが、女子は小中学生ともに県平均を下回っている。運動・スポーツに親しむ機会を増やすなど学校体育や運動部活動の環境整備に努めたい。

(11)学力調査でベスト3にある福井県は、体力調査でも全国1位である。秋田県、石川県も上位5県に入っているが、教育長の所見は。

(12)今後の取組について。

<答弁要旨概略…答弁者：教育長>

・学力調査と体力調査の都道府県順位を比較すると、学力調査・体力調査の成績がともに高い県が比較的多いことが見受けられる。学力調査と体力調査の相関についていろいろな意見を拝聴し、学校教育に反映していく。教員の指導力向上、地域の人材活用の促進、指導環境の充実に努めていく。

(13)ひとり親家庭やいわゆる貧困家庭の子どもたちは学力調査や体力調査の結果と関連性はあるか。

<答弁要旨概略・・・答弁者：教育長>

・文部科学省が作成した「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」報告によると、家族構成や所得などの社会経済的背景が、子どもの学力に影響を与えることが示されている。体力調査の結果との関連性は、経済状況がひっ迫した家庭で育つ子どもは、体力が低下する可能性が高いことを指摘する研究者もいる。全ての子どもが質の高い教育を公平に受け、能力や可能性を最大限に伸ばす指導体制の充実に努めたい。

(14) 黒部市はまち・ひと・しごと創生の基本方針からも、「貧困の連鎖」の課題解決に取り組まなければならないと考えるが。

<答弁要旨概略・・・答弁者：市長>

・貧困が世代を超えて連鎖しないように対策を行っている。義務教育世帯の就学援助、高校や大学等へ就学するための奨学金制度、ひとり親家庭に対する支援として、児童扶養手当の支給、母子父子寡婦福祉資金貸付金等の支給を行っている。教育が果たす役割は大きく、子ども達が家庭環境に左右されず、確かな学力を身につけることができるよう、安心して学習に取り組むことができる環境整備に努めたい。

(15) 黒部市の「教育大綱」について。

<答弁要旨概略・・・答弁者：市長>

・市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において策定することが義務付けられたもの。市では昨年8月、総合教育会議を設置し協議を進め、去る2月26日に開催した第3回会議において、「黒部市教育大綱」を決定した。大綱の概略は、対象期間を平成29年度までとし、総合振興計画と教育の方針との中間に位置づけた。具体的には「未来（あす）の黒部を育む「人」づくり」を大綱の理念に掲げ、理念を達成するための5つの視点を念頭に置きながら、本市教育行政の進展に努めたい。以上でございます。

委員長

質問等ありましたらお願いします。(質問なし)

無いようでありますので、次に、「報告5 三陟ファンヨンジョ国際マラソン大会選手団の派遣」について報告願います。

事務局
(スポーツ課長)

三陟ファンヨンジョ国際マラソン大会選手団の黒部市派遣選手団が決定しましたので、報告させていただきます。

大会開催日は4月24日(日)、参加種目はいずれも5kmの部であります。派遣日については4月22日(金)から3泊4日で派遣を致します。選手団4名は、市内の中学1年生と2年生で、男子生徒が3名と女子生徒が1名でございます。団長は、能澤教育長、随員はスポーツ課職員1名であります。この大会への選手の派遣については平成14年から継続しておりますが、派遣をはじめた当初は8月開催であったため、夏休みに合わせて、小中学生を派遣しておりました。ところが数年前から4月第1週に開催日が変わったことから、小中学生の派遣が難しくなりました。その時から一般選手に一旦切り替えしました。但し昨年からは4月末開催に時期が変わり、今回、中学生を2名、一般を2名で募集をかけましたが、結果として一般からの応募がなかったため、応募いただいた中学生4名をそのまま今回の選手団として決定したところです。なお、来年度につきましても、基本的には中学生2名、一般2名ということで一般2名については公募を致しますが、中学生につきましても、今度のカーターマラソンの成績上位者を派遣するというのを皆さんにご説明申し上げながら今回の大会に臨みたいと考えております。

委員長

派遣費用はどうなっているのでしょうか。

事務局
(スポーツ課長) 中学生については、保険代のみ負担していただいております。一般の方の場合は、食事の関係もありまして、3万円程度ご負担いただいております。

委員長 一般の方の参加は、難しいかもしれないですね。

事務局
(スポーツ課長) カーターマラソンには種目がいくつもありますので、どの種目の上位の方をお連れするというのが、1つの問題となります。成績上位の方を派遣するのは中学生のみとし、一般については、引き続き公募ということで考えております。

委員長 一般公募があるということは、周知されているのですか。

事務局
(スポーツ課長) ここ数年では、応募者が定員を超えるという状況ではありません。やはり、お仕事を休んで行くこととなりますので、かなり興味関心のある方に限られると思います。

委員長 三陟市からも、毎年何名か来られていますよね。

事務局
(スポーツ課長) 小中学生のランナーと大人の方、だいたい5、6名程度来ていらっしゃいます。

委員長 交流を継続していくことは大事だと思いますが、一般の方は、このような機会がないと市と交流している都市に行く機会はありませんので、ぜひ応募して欲しいと思います。本当はもう少し補助があれば、応募しやすいのかもしれない。他に質問等なければ次に移ります。「報告6 各課等の事業報告(経過・予定)」について報告願います。まず学校教育課から願います。

事務局
(学校教育課長) <経過事業>

- ・ 2月26日 第3回黒部市総合教育会議(第2委員会室)
2月29日付けで教育大綱を公表したところです。
- ・ 3月1日 職員出前講座「学校再編(中学校統合)について」
(三日市自治振興会)(三日市公民館)
- ・ 3月18日 職員出前講座「学校再編(中学校統合)について」
(石田自治振興会)(石田公民館)
- ・ 3月1日～18日 黒部市議会3月定例会
- ・ 3月5日 前沢小学校閉校式典、閉校記念碑除幕式、感謝の集い(前沢小ほか)
- ・ 3月6日 三日市小学校閉校式典、感謝の集い(三日市小ほか)
- ・ 3月15日 卒業式(中学校)
- ・ 3月17日 卒業式(小学校)
- ・ 3月18日 卒園式(さくら幼稚園)
- ・ 3月24日 修了式(幼稚園・小中学校)

<予定事業>

- ・ 3月26日 卒園式・修了式(生地こども園、石田こども園)
- ・ 3月31日 退職職員辞令交付式、教職員異動辞令交付式及び確認式(市役所)
- ・ 4月4日 入園式・始業式(生地こども園、石田こども園)

- ・ 4月6日 桜井小学校開校式
9時半から行われます。是非出席いただければと思います。
- ・ 4月6日 始業式 (幼稚園・小中学校)
- ・ 4月7日 入学式 (中学校)
- ・ 4月8日 入学式 (小学校)
- ・ 4月11日 入園式 (さくら幼稚園)
- ・ 4月14日 小中学校長会議・研修会 (201-202 会議室)
- ・ 4月19日 小中学校教頭・事務担当者会議 (202-203 会議室)
- ・ 4月20日 第1回市町村教育委員会教育長会議 (県民会館)
- ・ 5月10日 臨時教育委員会 (202 会議室)

5月9日をもって、村田委員長が任期満了となられるため、5月10日に臨時教育委員会の開催を予定しております。

なお、3月議会最終日の18日に村田委員長さんの後任として、前田潤さん(石田地区)が選出され、議会の同意を得られました。5月10日に教育委員として任命されます。

委員長

続いて生涯学習課からお願いします。

事務局

(生涯学習課長)

<経過事業>

- ・ 2月25日 伝承芸能・伝承技術士認定式 (第2委員会室)
下立獅子舞の天狗の舞の松本正志さんが伝承芸能・伝承技術士として認定されました。
- ・ 3月5日 立山黒部ジオパーク「富山の中の、地球へ行こう!」出発式 (富山駅)
列席者100名のもと、富山駅で行われました。
- ・ 3月23日 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会理事会 (吉田科学館)
平成28年度の事業計画及び収支予算案が決定されております。

<予定事業>

- ・ 4月11日 黒部川扇状地フィールドミュージアム事業推進協議会総会 (うるおい館)
- ・ 4月17日 明日の稚児舞 (国・無形民俗文化財) (法福寺)
- ・ 4月18日 立山黒部ジオパーク支援自治体会議総会 (ホテルニューオータニ高岡)
- ・ 4月21日 黒部市芸術文化協会定期総会及び懇親会 (ホテルアクア黒部)
- ・ 4月28日 黒部市吉田科学館リニューアルオープン式典 (吉田科学館)
教育委員の皆様には案内が届きますので、ご列席をお願いいたします。

委員長

続きましてスポーツ課からお願いします。

事務局

(スポーツ課長)

<経過事業>

- ・ 2月25日 第33回カーター記念黒部名水マラソン第2回実行委員会 (総合体育センター)
フルマラソンと10kmの部につきましては、予定の締め切りを2月29日としておりましたが、定員に達しなかったため、若干締め切りを延長しました。ただ、3月17日までにフルマラソン5,500名、10km2,000名の定員に達しましたので、現在この部分については締め切りしました。
- ・ 2月27日 YKK陸上部創立60周年記念祝賀会 (ホテルアクア黒部)
- ・ 3月5日 黒部市バレーボール協会設立50周年記念事業 (ホテルアクア黒部)
元全日本選手の大山加奈さんを講師にお迎えしまして、市内のスポーツ少年団、中学

生バレーボール部員、桜井高校バレーボール部員等に講演をお聞きいただきました。

・3月5日～6日 bjリーグ 2015-2016 シーズン富山グラウジーズホームゲーム（総合体育センター）

・3月24日 黒部ミニバスグリフィンズ激励会（市長応接室）

ミニバスグリフィンズにおきましては、先に北信越大会で優勝したとご報告していましたが、これとは別の大会で富山県代表の権利を獲得しまして、3月28日からの全国大会へ出かけるということで、激励を行ったところです。

<予定事業>

・4月12日 平成28年度黒部市スポーツ推進委員協議会総会（パレス扇寿）

任期2年の委員であります。全体53名のうち、5名程度が替われ、新たに委員さんをお願いする予定です。

・4月22日～25日 2016 三陟ファンヨンジョ国際マラソン大会黒部市選手団派遣（大韓民国 三陟市）

22日、9時前に市長室で選手団の激励会の後、出発していただく予定です。

委員長

続きまして図書館からお願いします。

事務局

<経過事業>

（図書館長）

・3月1日 3月おすすめ「さがし絵わかるかな？」（～3/30）（図書館）

90冊の展示をしております。

・3月1日 「寄贈本」展（～3/21）（図書館）

700冊の展示をしております。

・3月2日 ネコのえほん特集（～3/30）（宇奈月館）

40冊の展示をしております。

・3月9日 宇奈月ロータリークラブ寄贈本展（～3/30）（宇奈月館）

40冊の展示をしております。

<予定事業>

記載のとおりです。

フェイスブックの集計状況ですが、3月15日現在、「いいね！」と反応いただいた累計が5,113名です。アクセス数は累計31,061です。海外からのアクセスは11カ国いただいております。続きましてうなづき友学館での「あかちゃんタイム」の集計でございます。3月15日現在、試行の火曜日、土曜日の累計が718人、それ以外が736人でございまして、合計1,454名でございます。火曜日、土曜日の占める割合とすれば、49パーセントというところでございます。続きまして、毎週土曜日に行われております読み聞かせの集計結果でございますが、3月21日現在、3月19日土曜日で84回を迎えております。累計が836名の参加で、そのうち子どもさんの参加が463名、1日あたりの平均参加者数が10人を維持しているところであります。

委員長

最後に学校給食センターからお願いします。

事務局

<経過事業>

(学校給食所長)

- ・ 2月 25日 学校給食アレルギー対応保護者面談(～3/8) (給食センター)
除去代替食 18名、23品目のアレルゲンの情報提供が必要な対象者は、21名おられました。
- ・ 3月 23日 3学期学校給食終了(幼・小・中学校)

<予定事業>

- ・ 4月 6日 1学期学校給食開始(全中学校)
- ・ 4月 7日 1学期学校給食開始(幼稚園・全小学校)

委員長

図書館の報告の部分で、「あかちゃんタイム」のことですが、火曜日と土曜日が多い日で、その他の日もカウントしているということですが、火曜日と土曜日は、あかちゃんタイムの日ですよということは、集まれる皆さんは知っているのですか。

事務局
(図書館長)

そうです。まず「あかちゃんタイム」を実施する旨のチラシを配布しPRし、もともと火曜日、土曜日は赤ちゃん連れが多いという担当者の感触から、集計を取り始めたところ、予想どおりだったということです。

委員長

いいですね。火曜日と土曜日ではどちらが多いですか。

事務局
(図書館長)

火曜日は平日ですので、土曜日の方が多いです。平日の中では火曜日が一番多く、土曜と日曜では、土曜の方が多いです。

委員長

火曜日が多いのは何故でしょうか。

事務局
(図書館長)

月曜休館日の翌日ということが要因と思われます。

委員長

やはり、同じような年齢のあかちゃん、友達が少しでも多くいる時に自分の子も連れていきたいと思うのですかね。

事務局
(図書館長)

それもありますし、お子さん連れで親もリラックスできる場所が意外と少ないということも考えられます。

委員長

他に質問等よろしいでしょうか。(質問なし)

それでは次に、「報告7 その他」について何かありますでしょうか。

事務局
(学校教育課長)

先ほども申し上げましたが、桜井小学校が開校いたします。開校式は4月6日、9時半から10時に桜井小学校の体育館で執り行うことになっております。式次第については記載のとおりですが、開校の告示を教育委員長さんをお願いします。式辞が市長からありまして、新たに作った校旗を市長から校長へ授与します。そのあと挨拶、祝辞、児童代表の挨拶の後、作曲者の間部さんの伴奏で校歌を斉唱するということでありまして、体育館には大きな額に入れた校歌を掲示してありますので、そこには作詞者、上田洋一さん、作曲者、間部栄司さんと書かれた校歌が掲載されています。30分間ですが、委員の皆様には出席をお願いしていると思います。以上です。

委員長	よろしいでしょうか。
事務局 (学校教育課長)	資料はありませんが、28年度には教育委員さんの行政視察として、4年に1度、根室市を訪問する予定です。平成28年は姉妹都市提携40周年記念式典が行われる予定で、8月28日に姉妹都市提携の親善訪問団、第九を歌う会の合唱団の皆さんが8月27日、28日、29日の日程で、根室市を訪問します。28日には式典やコンサートが行われます。その日程に合わせて訪問したらということで計画を進めております。5月以降の教育委員会の新体制まで待っていますとスケジュール調整が難しくなることから、今のうちにその方向で進めさせていただきたいと思います。受け入れ側の根室市の立場も考えると、時期をずらして何回も黒部から訪問されると大きな負担となりますし、ご迷惑もあまりかけたくなく、1度で済ませたいと思っています。
委員	行程は何泊何日ですか。
教育長	8月27日(土)、28日(日)、29日(月)の2泊3日です。
委員長	新委員にも早めに確認をしておいた方がいいと思いますし、4年に1度の姉妹都市の訪問です。ぜひ皆さんには出席していただきたいと思います。日程の調整はそこに縛られますが、親善訪問団と合わせることを望ましいと思います。 (異議なし) では、そのように進めていくということで、何かあればまた言ってもらおうということで。最後に「その他事務連絡等」について、事務局からお願いします。
事務局 (学校教育課長)	次回以降の定例会の日程です。次回の4月定例会は4月27日(水)15時から、会場は市役所203会議室です。教育委員会組織会議となります5月臨時会は、5月10日(火)午前10時15分から202会議室で開催します。次に、5月定例会ですが、新体制での定例教育委員会会議となります。(日程調整…略) それでは、5月定例教育委員会は23日(月)15時からでお願いします。
委員長	事務局から今後の日程について説明がありましたので確認します。(確認内容…略) 昨日、市職員人事異動内示がありました。事務局からご挨拶あります。(異動挨拶…略)
委員長	これをもちまして黒部市教育委員会3月定例会を閉会します。
終了時刻 傍聴人	午後3時20分 なし

議事録調製

学校教育課課長補佐庶務係長 神保 竜

平成28年4月27日

署名人 黒部市教育委員会委員長 村田 聖士